

呉市企業の今期の景況は、夏場の天候不順・増税後の消費不振等で2期連続悪化
- 原材料高・人材不足など懸念材料があり、先行きは慎重な見方続く -

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・平成26年9月を前年同月と比較
- ・平成26年10月～12月の先行き見通しを平成26年9月と比較
- ・調査時期 9月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業100社 (回答84社、回収率84%)

【D I 方式について】
D I (ディフュージョン・インデックス) は、各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす。

D I = (増加・好転等「良い」の回答割合) - (減少・悪化等「悪い」の回答割合)

・9月の景況を見ると、下の表の通り、**総合(全業種) D I** (良い-悪い) は△1.2 → △7.1 と、全体では前期に比べ、△5.9と悪化。
業種別では、**製造業**は、約7.5割の企業が横ばいの回答で、D I は4.1 → 8.3と上昇した。
非製造業は、約6.6割の企業が横ばいの回答で、D I は△8.8 → △27.7と大幅に下降した。

・10～12月の先行き見通しでは、**総合(全業種) D I** は0.0 → △4.8と、前回予測から△4.8と下降する見通し。
業種別では、**製造業**は、D I は12.2 → 8.3と悪化する見通し。
非製造業は、D I は△17.6 → △22.1と少し悪化する見通し。

総合(全業種)では、△1.2 → △7.1と、呉市の景況は前期に比べ、△5.9と悪化傾向。来期は△0.0 → △4.8と、前回予測から下降する見通し。
業種別概況は、製造業は前回の落ち込みから回復、非製造業は前回よりもさらに悪化の推移となった。9月調査による10～12月先行き見通し DI 数値は、6月調査による7～9月先行き見通しに比べて製造業・非製造業共に下降する見通し。
呉市の景況は、製造業は原材料価格の上昇・エネルギーコストの増大により受注及び売上は減少傾向で、回復は弱めとなっている。非製造業は、消費税率引き上げに伴う反動から持ち直しの動きが期待される中、今夏の天候不順により個人消費の不振が長引き厳しい状況となっている。
経営上の影響については、「人材が不足」「人事面で採用難」など人材を確保するのに苦慮している状況が伺える。また、「熟練者の定年」「職員(設計)の高齢化」を背景に、技術を持つ若手の人材が不足しているなど、人材に関する問題が顕著に見受けられた。
来期の景況については、引き続き原材料高や人材確保が厳しい状況が見受けられ、先行きに対して慎重な見方が続く。

業種別景況D I

	26年 6月 実績	26年 9月 実績	今 期			6月調 7～9月 見通し	9月調 10～12月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合(全業種)	△1.2	△7.1	10.7	71.4	17.8	0.0	△4.8	11.9	71.4	16.7
製造業	4.1	8.3	16.7	75.0	8.3	12.2	8.3	16.7	75.0	8.3
非製造業	△8.8	△27.7	2.8	66.7	30.5	△17.6	△22.1	5.6	66.7	27.7
建設業	△14.3	△37.5	0.0	62.5	37.5	△14.3	△25.0	0.0	75.0	25.0
卸売業	△30.8	△28.6	0.0	71.4	28.6	△23.1	△21.4	7.1	64.3	28.5
小売業	0.0	△33.3	0.0	66.7	33.3	△14.3	△33.3	0.0	66.7	33.3
サービス業	28.6	0.0	20.0	60.0	20.0	△14.3	0.0	20.0	60.0	20.0

業種 DI の推移

(H24.6～H26.6)

